

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公開番号】特開2004-54935(P2004-54935A)

【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-007

【出願番号】特願2003-183660(P2003-183660)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/16 3 1 0 B

G 0 6 F 12/16 3 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月12日(2006.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】CAMビットエラーを検出する方法であつて、
格納パリティをRAMから検索するステップと、
格納マスクビットを前記RAMから検索するステップと、
CAMの照会に使用される照会データを前記RAMからの前記格納マスクビットでマスクすることによつて、マスク照会パリティを生成するステップと、
前記格納パリティおよび前記マスク照会パリティを比較するステップと、
を含む方法。

【請求項2】CAMビットエラーを検出する方法であつて、
CAMを第1のデータセットで照会するステップと、
前記第1のデータセットで照会されるのに応じて前記CAMによつて提供されるアドレスに対応するロケーションから、第2および第3のデータセットを検索するステップと、
前記第1のデータセットから生成されたパリティを、前記第2のデータセットによつてマスクした後、前記第3のデータセットと比較するステップと、
を含む方法。

【請求項3】CAMビットエラーを検出する装置であつて、
第1のパリティをマスクされたCAMエントリ上に生成および記憶する手段と、
前記第1のパリティおよびマスクビットセットを、前記CAMの照会時に該CAMによつて供給されるアドレスから検索する手段と、
前記マスクビットセットによつてマスクされた前記CAMを照会するのに使用されるデータから、第2のパリティを生成する手段と、
前記第2のパリティおよび前記第1のパリティを比較する手段と、
を有する装置。